

第2回「あきる野・檜原地域公共交通活性化協議会」  
第2回「奥多摩地域公共交通活性化協議会」  
議事概要

1. 日時

令和5(2023)年7月21日(金曜日) 13時30分～14時30分

2. 議事

- (1) 法定計画策定に向けた手順について
- (2) 法定計画の構成案について
- (3) 西多摩地域の課題の整理、基本方針(案)・目標と施策(案)について

まず、事務局より議事に係る資料について説明を行い、その後意見交換を行いました。  
委員からの意見は以下のとおり。

■ 西多摩地域の課題の整理、基本方針(案)・目標と施策(案)について

- 当地域は地域のニーズだけでは厳しいため、観光需要を取り込みながら運行しており、テレビの旅番組などでも時折紹介されるように一定の利用がある。コロナ禍では一定の減少はあったものの、特に週末や連休など、登山、奥多摩湖、檜原村の滝や川といった所への来訪者があった。その際、通常便では乗り切れない時は増便の対応などを実施した。
- 対象地域のニーズは人口減少により減少傾向である。一方、小中学生の通学の足として、別途スクールバスを用意することなく路線バスが利用されている。そのため、学校のスケジュールに合わせてバスのダイヤの調整を行っている。
- 観光で非常に需要が多い時の臨機応変な対応、小中学生の通学など住民生活の利用の実績からすると、色々とまだ掘り起こすべき所があるのではないか。
- 鉄道の利用は、昨年度と比べると100%を超えているが、コロナ前の2018年度と比べるとまだ80%台半ば程度で、テレワークの浸透やインバウンドが戻り切っていないことが考えられる。そのため、関係者と連携して100%に戻る、もしくは100%を越えられるような取り組みを進めていきたい。
- JR五日市線・青梅線沿線は観光資源が豊富で、東京アドベンチャーラインと銘を打った取組み、駅スペースを活用したアンテナショップなど魅力発信、観光客誘致に取り組んでいる。
- 観光がコロナ前よりも活性化するような施策を検討できると良い。それだけのバックグラウンド、需要があると思われるため、観光、交通機関だけでなく、観光振興や観光施設と連携し施策をあげられると良い。
- 資料では、地域の公共交通の現状として、鉄道、路線バス、デマンドバス、福祉輸送、観光輸送と色々公共交通網があるということが紹介されているが、基本方針案では路線バスが中心で、鉄道や福祉輸送、観光輸送などその他の交通モードが見えて来ない。そのため、地域の各公共交通機関の機能分担、役割、位置づけを比較できるような形で記載したほうが良い。

- 週末には車の渋滞が発生している。そのため、例えば、CO2 削減のため環境に優しいバスを使うなどをアピールして、来訪時に電車・バス等を利用する観光客を増やすような方策を盛り込んだほうが良い。
- この 3 連休はもの凄い人がこの地に来てくれたが車が渋滞し非常に困った。そのため、施策案の中で、各交通機関が連携して MaaS を利用して上手くお客様を回すことができれば、公共の交通機関を使って移動される方が増え、車も少なくなると思われるため、この点を考慮してほしい。
- 交差点での車の渋滞に関して、平日と休日で青信号時間を変えるなど、渋滞状況に応じた信号制御をしてほしい。普段と観光の時間帯では交通量が異なるため、通常時に信号設定を合わせていると、実態に合わないということがあると思われる。
- 資料の中では定性的な目標にしか触れられていないが、今後は定量的な数値目標の設定も必要となってくる。その数値をどのように算出するのか、どのタイミングで評価するのかについても決めて計画に記載していく必要がある。

■ 次回（第 3 回）協議会開催について

- 令和 5 年 10 月 13 日（金） 13：30 からの開催を予定している。